

姫路市医師会

ほうもん かんご

訪問看護ステーションだより

居宅介護支援事業所

姫路市医師会訪問看護ステーション 姫路市西今宿三丁目7番21号 TEL079-295-3377

No.026 2008.1 発行

あけまして おめでとうございます。子年のはじまりです。

昨年は、一年の世相を表す今年の漢字に「偽」が圧倒的多数で選ばれました。

毎年、一年の始まりは、きっといい年になるだろうと期待をこめて元旦の空を仰ぐのですが、今年を代表する漢字には何が選ばれるのでしょうか。皆様が心穏やかな一年を送られることを祈って、本年も訪問看護ステーションをよろしく願いいたします。

新しい健診、特定健診・特定保健指導

2008年4月から新しい健診がスタートする。

生活習慣病の発見と、生活指導による予防を柱としたもので、特定健診・特定保健指導とよばれる。

対象は、40～74歳までの保険に加入しているすべての人。いままでの健診は、被保険者が対象であったが、新しい健診では被扶養者にも義務化されている。つまり、保険に入っている主人だけでなく、奥さんも対象となる。

特定健診の対象者は5600万人、そのうち1400万人に特定保健指導が必要になると推計されている。

この健診でどれだけの効果があるかは未知数だが、生活習慣病を早期に発見、予防することで、医療費の削減を目指す大きな実験が始まる。特定健診が始まると、いままでの健診は特定健診に一本化される。たとえば、会社で行われていた企業健診では、特定健診で決められた検査項目が企業健診に組み込まれることになる。市町村が40歳以上の住民に行っていた基本健診は廃止され、特定健診がその代わりになる。

特定健診の内容は、

1. 既往歴の調査(服薬歴、喫煙習慣も含む)
2. 自覚症状、他覚症状
3. 身長、体重、腹囲
4. BMI
5. 血圧
6. GOT、GPT、γ-GTP
7. 中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール
8. 血糖
9. 尿糖、尿蛋白
10. 医師が必要と認めるときは、心電図検査、貧血検査など

腹囲(ウエスト回り)が基準値を超えていたり、肥満がある場合は、血糖値、中性脂肪やコレステロール値、血圧、喫煙の有無によって、生活習慣病のリスクを判定する。

生活習慣病のリスクによって、2段階の保健指導が義務づけられる。

医知場ホームページより

高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に基づく対応状況に関する調査結果

平成19年9月21日厚生労働省発表

被虐待高齢者の性別

	男	女	不明	合計
人	2,284	7,717	29	10,030
%	22.8	76.9	0.3	100.0

(注) 被虐待高齢者が複数の場合があるため、虐待判断事例総数9,884件に対し被虐待高齢者総数は10,030人であった。

被虐待高齢者の年齢

	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	不明	合計
人	1,078	3,687	3,987	941	337	10,030
%	10.7	36.8	39.8	9.4	3.3	100.0

(注) 被虐待高齢者が複数の場合があるため、虐待判断事例総数9,884件に対し被虐待高齢者総数は10,030人であった。

虐待の要因

- 在宅介護で虐待が生じる要因
- ① 前提としての「家族介護」
- ② 世帯の変化
- ③ 介護者の「限定」と「負担」の長期化
- ④ 虐待の類型
 - A. 介護負担(ストレス)蓄積型
 - B. 力関係逆転型
 - C. 支配関係持続型
 - D. 関係依存密着型
 - E. 精神的障害型

虐待の種別・類型(複数回答)

	身体的虐待	介護等放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	合計
件数	6,340	2,908	3,520	71	2,705	15,544
%	64.1	29.4	35.6	0.7	27.4	—

(注1) 虐待の種別・類型には重複があるため、内訳の合計は虐待判断事例総数9,884件と一致しない。

(注2) %は虐待判断事例総数9,884件に対する割合であるため、内訳の合計は100%にならない。

虐待者との関係

被虐待高齢者からみた虐待者の続柄は、「息子」が37.1%と最も多く、次いで「夫」が14.1%、「娘」が13.5%の順であった。

※1件の事例に対し、虐待者が複数の場合があるため、虐待判断事例総数9,884件に対し、虐待者総数は11,401人であった。

虐待者の被虐待高齢者との続柄

	夫	妻	息子	娘	息子の配偶者(嫁)	娘の配偶者(婿)	兄弟姉妹	孫	その他	不明	合計
人	1,606	557	4,229	1,543	1,165	287	213	491	532	778	11,401
%	14.1	4.9	37.1	13.5	10.2	2.5	1.9	4.3	4.7	6.8	100.0

(注) 虐待者が複数の場合があるため、虐待判断事例総数9,884件に対し、虐待者の総数は11,401人であった。



白熱電球がなくなります

先日「三丁目の夕日2」という映画をみました。昭和34年頃の作品だそうです。ちょうど、私が生まれた時代ですが、こんな時代かあ、と楽しく、じんわり胸の奥が暖かくなる感じがしました。

そんな時代のほのぼのとした雰囲気を表す明かり、白熱電球の国内での製造、販売が中止になるそうです。電力消費が大きく、エネルギー効率が悪いので温暖化対策として電球型の蛍光灯に取って代わるそうです。白熱電球に最適のフィラメントとしてエジソンが京都・八幡の竹を使った事は有名ですが、その頃よりわずか128年、地球は温暖化と環境破壊で悲鳴をあげています。私たちは物質的な豊かさや引き換えに取り返しのでつかない物を失っているのではないのでしょうか。欲しいものが何でも手に入る今、その分複雑になっていく生活。数十年後、やはり今の時代を懐かしく思い出すのでしょうか。

蛍光灯は電気の放電を利用するのでくまなく照らし出す。白熱電球は豊かな陰影を生み出すことにある、と新聞に書いていました。隅々まで明るく照らし出されると、どうも落ち着かないのは私ばかりでしょうか。うすぼんやりとした暗がりには、時に人をやさしく包んでくれます。今よりは貧しかった時代に心が落ち着くのは、そのようなせいでしょうか。